

< 家庭数 >

PTA 会員の皆様

世田谷区立千歳小学校
校長 安藤 由季子
PTA 会長 新井 佑彌
家庭教育学級委員長 香川 紀子

令和元年度 第1回家庭教育学級 開催報告書

初秋の候、PTA 会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
7月9日に、『第1回 家庭教育学級』を開催いたしました。講師に、阿部由佳子先生をお招きし、「子どもたちを取り巻く『今』を知ろう：急激に変化する英語教育」というテーマのもと、講座を行いました。当日は大勢の方においで頂き、熱気あふれる会となりました。以下、講座内容を報告申し上げますのでご参加いただけなかった方々もぜひお役立ていただければ幸いです。

阿部 由佳子（あべ ゆかこ）先生：コミオ英語教育ラボ 代表。高校在学中に家族とニューヨークに移住。NY 大学を卒業後、15年間富士ゼロックス株式会社に 翻訳・通訳、商品企画として勤務。2013年にコミオ英語教育ラボをスタート。小中学生向け英語教室「コミオキッズ」を主催、代表。資格 英検一級（優秀賞受賞） TOEIC980点 通訳検定2級 児童英語インストラクター 日本語教師 親子コーチング協会認定コーチ



○ 阿部先生のバックグラウンド：現場の経験から学んでいった英語

公立の学校に通った後に、高1で突然NYに。最初は、日本の中学で学んだ英語ではコミュニケーションも難しく、“暗黒時代”を過ごす、ある先生との出会いで変わる。英語で詩を書く授業で、辞書を引きながら書いた詩を誉めてもらったことが大きな自信となり、その後NY大学に。帰国後は翻訳の仕事をした後に英語教室開設。

○ 激変する英語教育環境：2020年の教育改革

少子化・超高齢化が進む現在「世界と戦えるグローバル人材」（内閣府）を求める声が高まっている。特に、今後AI技術の発展によって、2011年にアメリカの小学校に入学した子どものうち65%は、現在存在していない職業に就くことが予測される中で、単なる知識ではカバーできない思考力や創造性が強く求められている。

従来の日本の英語教育においては、基本的に中学から文法中心の教育が行われていた。しかし TOEFL スコアの国際比較では、日本はアジア 30 か国の中でも 26 位に留まり、スピーキングに至っては最下位という状況。千歳小学校は英語教育が盛んで、極めて恵まれた環境であり、すでに様々な試みが行われているが、2020 年以降は、全国の中学校でさらに次のような改革が行われる。

- ①英語の授業は英語で行われる、②「話す」「聞く」「読む」「書く」の 4 技法に加えて、多読・作文等が加わる、③与えられたテーマで自分の意見や主張を短いスピーチで表現できるようになることが目指される。

小学校で必要とされる英語語彙数も、現行のゼロから 600-700 語となる。中学卒業段階では英検 3 級～準 2 級程度の英語力取得が目標とされ、高等教育でも、思考力・判断力・表現力が重視され、長文読解が鍵となっていく。

○ インプット（読書習慣）と、子ども自身で行う「目標設定」の大切さ



英語を学ぶ際にも、子どもが小さいうちは、インプットが重要！！話すこと（アウトプット）が重視されがちだが、出せる内容（知識・自分の意見）が無いままでは、そもそも話すことができない。また大学から英語読書をしようとしても、もともとの読書の習慣がないと難しいため、小学生のうちから、まるで歯磨きのように、子どもが毎日自然と読書をするような習慣をつけることが大切。

ただし、インプットだけだと飽きるため、モチベーションを上げるためにも、目標を立て、必要なアウトプット（外国人と実際に話す機会を持つ等）を準備してあげることも大切。また、「親に言われたから」ではなく、子ども自身が「自分で立てた」目標（例：テストで 20 点 up、英検に挑戦、憧れの職業）こそが達成への早道。

○ 「ピグマリオン効果」と子どもの幸せ



英語はツールに過ぎない。ツールを使って、子どもたちに幸せになってほしい。「ピグマリオン効果」（教師が、子どもに期待の目を向けることによって、実際にその子どもが伸びる）という教育心理学的知見にもあるように、子どもは大人の期待を受けて育まれていく。

お母さん・お父さんが、この子はきっとできると信じ、期待して、伸ばして行ってあげてほしい。



以上、簡単ではありますが、講演会の内容をご紹介いたしました。1 時間半強の講演会でしたが、最新の情報を参加者たちに分かりやすく、千歳小 OB ママとしてのご自身の経験も交えながらご説明くださいました。

質疑応答では、紙の辞書と電子辞書の比較や（紙のほうが、一単語を引いた際に一度に目に入ってくる情報量が多いため、おすすめ。ただし無理強いはいしないこと）、子どもの進路といった質問についても、親身になって答えてくださいました。アンケートでは、「本を読むことの大切さが身に染みだ」という声が多く寄せられました。以下、その他の声の抜粋です。



○（インプットの大切さ）「確かに」と思いました。知らないことは分からないし、言葉を知らないと考える材料が少ないので、インプットをたくさんして層が厚く考えられるようになってほしい。

○ピグマリオン効果、忘れがちですが、ほめること、期待することが大事なんだと思いました。藤本先生（世田谷区教育委員会 社会教育指導員）のお話も、楽しかったです。

○期待されたら伸びる。目標設定を明確にする。

○子供を信じる声掛けをもっとしよう。

★第二回家庭教育学級

令和元年 9 月 26 日（木）「給食体験会」 11:30～

★第三回家庭教育学級

令和 2 年 2 月 14 日（金）「お母さんのためのヨガ体験」を予定しています。